



こんにちは

村田 けい子です

2018.1118
No. 178

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。
発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



「水野スウさんの けんぼう・おはな しかい」 紅茶の時間



紅茶とクッキーが用意された会場にびっしりのみなさんの参加で、紅茶の時間が始まりました。

「娘を授かった時に、一緒に子育てができる仲間が欲しいと思って、週に一度の紅茶の時間を始めました」という自己紹介から始まり、お嬢さんが引きこもりになって苦しんだ中で憲法13条と出会い、「自分は他の誰とも取り換えがきかない」「自分はそのまま生きていいんだ」ということを学び、この一人ひとりの生き方をそのまま認めているのが憲法13条なのだと思えたこと。そしてその憲法は絶え間ない(不断)努力がなければ失ってしまうものだという事(12条)。13条と12条は対=2つで一つのもの。

「ほめ言葉のシャワー」
「私とあなたのけんぼう
BOOK」水野すう著
本あります。ぜひお手
取ってお読みください。

**「私は他の誰とも取り換えがきかない」 憲法13条
「12条する」 不断の努力=普段の努力
12条+13条=25条(人間らしく生きたいと願うこと)**

「今、権力者を縛る憲法が国民を縛るものに変質されようとしている」ことを心に沁みとおる言葉で語られました。



11.6初日の様子 中学生が参加。

「議会と語る会」積極的提案が町民から続々。

11月6日,7日,10日,13日と4回に分けて行われた議会と語る会。議員全員が参加。小グループで話し合う形式に。参加者はそれぞれ少数でしたが、中には4回皆勤された熱心な住民もいらっしゃり、時間いっぱい、発言が相次ぎました。

【主な意見】

- ・下水道の不適切事務処理における処分問題・・・処分が遅すぎる・軽すぎる。
- ・元号表記だけではわかりにくい。西暦と併記を。
- ・一般質問の目次を作ったのは良かった。さらに1年分の質問の一覧表をのせて。
- ・議員のなり手不足解消のため、夜間議会・日曜議会を開催しては。議員に家族手当をつけ、若い世代を促す。
- ・権現の湯改修について、町民の意見を聞くべき。
- ・地域活性化のために役場を退職した人も、ぜひ知恵と力を発揮してほしい。
- ・各種建設工事の入札結果の公表を。
- ・女性の小グループ活動に補助を。またさまざまな提案にポイントを付けて提案を引き出しては。
- ・区費が高すぎる(地域の歴史があって区費が詰まっている。ご理解を。・・と回答)

区費をゼロにして、地域活動交付金制度にし、全額税金で賄ったらどうか。



広目天(?)



役場玄関ロビーに粘土細工の四天王が鎮座しています。この写真は玉を持っているので智慧を司る広目天ではないかと思われます。(巻物を持つものもある) **四天王は、仏教世界の守護神だそうです。**

たてしなホームの入所者の方の作品ですが、単純化された中に、訴えかけるものがあります。シーサーもユーモラスですが迫力があります。そのまま飾っておきたいと思うものばかりです。

今週の
パチリ



藤岡義英県議 3期目出馬 記者会見行われる。11.14

佐久市創練センターで、藤岡県議が記者会見を開き、3期目を目指すことを表明しました。佐久市議団3名と私が同席しました。来年4月の県議選には、現職4人の他、新人3名が出馬予定とされており、かつてない厳しい選挙戦となる様相です。

「国にきっぱりとモノが言えない県政を変えたい」と語る藤岡県議。隣は、大池佐久地区委員長

記者会見で藤岡県議は、憲法を活かし、暮らしと環境を守る県政に変えたいと意気込みを語り、これまでの実績と今後の抱負を語りました。信濃毎日新聞・佐久市民新聞・赤旗記者が参加しました。

【実績】

- ①子どもの医療費の窓口負担を無くし現物給付を実現。今年8月1日から実施。
- ②給付型の奨学金制度を新設。ローンから返さなくても良い奨学金制度を全を日本で初めて創設。
- ③県知事選挙で争点にした「リニアよりクーラー」。来年から2ヶ年で「すべての県立高校・特別支援学校で100%設置」の表明を勝ち取ることに。

【追求してきたこと】

- 1、佐久森林組合の不正事務…真相を明らかにするべく百条委員会設置を提案。
- 2、オスプレイの低空飛行訓練について、事前通告をと要求
- 3、内山地区の産業廃棄物投入反対
- 4、射撃場設置の反対運動
- 5、メガソーラー建設について、地元合意のないものは反対
- 6、河川改修・佐久橋の修繕・142号線の4車線化
- 7、立科町の糞尿流出事件について

11.28(水) 立科町中央公民館 夜7時～
入場無料

沖縄・福島をつなぐ 尺八演奏と語り

沖縄県知事選のリアル・福島の生業訴訟についての報告と尺八演奏です。感動冷めやらぬ沖縄県知事選や原発被害で今なお元の暮らしに戻れない福島のみなさんのたたかいを聴くまたとない機会です。

素晴らしい尺八奏者の橋梁盟（リョウメイ）さんの生演奏をお聞きになれます。おなじみの童謡唱歌や歌謡曲もお得意の方です。なんと無料ですよ。こんな機会はめったにありません。ぜひ皆さん、おいでください。（別紙参照）

【今後の抱負】

- ①医療費窓口無料に続き、1レセプト500円の自己負担を無くすこと、障がい者の窓口負担も無くすこと。
- ②望月高校の廃校にストップ、…高校の統廃合では地元の合意がなければ認めない。高校でも30人以下学級にして、高校存立を。
- ③防災・減災のまちづくり
- ④介護・医療従事者の待遇改善
- ⑤若者など働き方改革、8時間働けばフツウに暮らしていける県政を。
- ⑥オスプレイの勝手気ままな訓練をやめさせる。

【記者からの質問に答えて】



Q、阿部県政をどう見る？

藤岡：安倍首相の推薦状をもらったことで、国に対してははっきりとモノが言えない人だと感じる。沖縄の様に、県民の立場で踏ん張れない人ではないか。ダメなものはダメといえる県政に変えたい。

Q、同年代の新人3人が立候補予定だが、違いをどう打ち出すか？

藤岡：残念ながら3人も自民党からといわれている。オスプレイの問題ではモノが言えないのではないかと。私はハッキリと態度を明らかにして住民と運動を進める。

Q、他の議員との共闘問題はどうか？

この度県議会で、日米地位協定の見直しを求める意見書を挙げた。翁長県知事が全国知事会に持ち込んで可決したが、その立場で、自民党議員にも働きかけて、県会全会一致であげられた。核廃絶の意見書も挙げられた。

オスプレイの飛行問題など、他の野党や議員も巻き込んで一致点で行動できる共闘も追及していく。佐久橋改修・道路拡幅など一致点での共同も進めていく。

他の議員も巻き込んで緊張感のある県議会にしたい。

意欲溢れる会見でした。